

水行10日・陸行20日

洛陽～伊都国

水行=895. 125km÷84. 15km(「大唐六典」の水行1日)=10. 6日≒**10日**

陸行=699. 875km÷28. 05km(「大唐六典」の陸行1日)=24. 95日≒25日
25日+5日(古代中国では1月に5日の休日)=**30日**

○洛陽から伊都国まで、大凡、水行10日、陸行1月となり、この日数を概念として今度は伊都国を起点として水行10日、又は陸行1月で会稽東冶の東に邪馬台国が位置するように計画されています。

○帯方郡から1万2千余里で女王国の国境に至りながら、帯方郡から直線で1万2千里、伊都国から水行10日、又は陸行1月で辿り着く会稽東冶の東、に邪馬台国があたかも存在しているように見せかけています。当然、これは偶然ではなく、陳寿によって考案されたものと推察されます。倭の民俗についても、多くは東南アジアを彷彿させるもので、誤誘導させようとしているのかも知れません。

